

世帯と人口

3 月 1 日現在・()内対前月比

世 帯	47,321	(+ 36)
人 口	123,978人	(+ 21)
男	63,060人	(+ 7)
女	60,918人	(+ 14)

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

①災害体験シミュレーション②学校安全監視員③歳末警戒パトロール
④中新田小学校区によるパトロール

▼ふれあいパトロールのバンダナ
愛犬の首に巻いてパトロールを
アピール。

かわいいイラストも
自治会員の手作りです。

安全安心の まち実現へ

児童を不審者から守る取り組み

中新田小学校区の「ふれあいパトロール」は、PTA、青健連、民生委員などが協力して行っています。右写真は愛犬の散歩を、児童の下校時間等に合わせ、不審者などからの被害を抑止するものです。地域住民が出来ることから始めていくという考えで、以前から率先して行われています。今後は、さらに長寿会や婦人会などに協力を募るなど、展開が予定されています。

都市化・高齢化・国際化が日に日に進行している本市では、みなさんが安心して市民生活を送るうえで、犯罪や事故、災害から守られる環境が求められていることはいうまでもありません。市では平成17年度を「防災・防犯交通安全の年」と位置づけ、市民の安全・安心のための取り組みを始めます。

たこえは多くの人が自転車や自家用車を使って移動することは、便利である反面、交通事故の危険性ははらんでいます。また、子どもたちをねらう不審者、都市部に増加している空き巣、窃盗といった犯罪…。さらには「振り込め詐欺」や「フィッシング詐欺」など新種の犯罪の被害も聞かれます。

そして、近い将来必ず起こるといわれている大地震による大規模災害の危険性にもさらされています。

こうした状況の中、安全に、安心して暮らせることは、わたしたち全員の願いであるといえます。

それでは、安全・安心を実現するためには、何が必要なのでしょう。

今回のテーマ「えびな安全・安心2005」では、市が行う犯罪防止や災害対策など多岐にわたるさまざまな取り組みを明示しています。

しかしながら「市がやってくれる」、「市がやればいい」といった旧態依然としたやり方では、お金もかかるし時間もかかります。行政の取り組みだけでは限界があり、安心できるくらしの実現に向けた大きなステップとして、みなさん一人ひとりの協力が不可欠なのです。

本市には、昔から息づく地域のみなさん同士のつながりがあります。まちの大切な財産である、この「つながり」を地域の安全や安心を守り、育てるために今まで以上に積極的に活かしていくことを目指す——そのためのバックアップを強力に行うための事業が、今年進めていく「えびな安全・安心2005」なのです。

みなさんの協力に因るための市の取り組みが今、スタートします。

具体的内容は4・5面に掲載。